



介護食や機能性食品、病院食等のロシアでの展開を検討しませんか？



○ 日本は、世界有数の長寿国であるだけでなく、健康寿命についても長寿です。一方、ロシアの平均寿命は近年伸長しているものの、日本との差は大きく開いています。

○平均寿命国際比較(男女平均)

順位	2015年	
	国名	平均寿命(歳)
1	日本	83.7
2	スイス	83.4
3	シンガポール	83.1
4	オーストラリア	82.8
4	スペイン	82.8
⋮	⋮	⋮
109	北朝鮮	70.6
110	ロシア	70.5
111	カザフスタン	70.2
⋮	⋮	⋮
183	シエラレオネ	50.1
平均値		71.4

資料:WHO「Global Health Observatory (GHO) data」

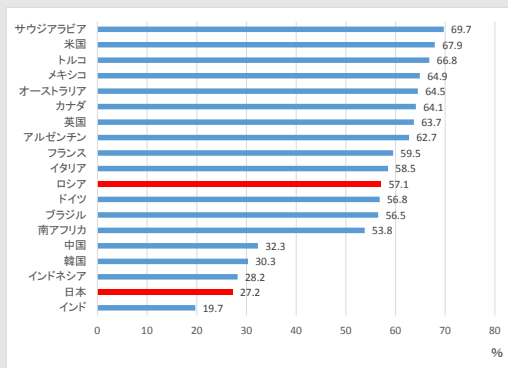
○健康寿命国際比較(男女平均)

順位	2015年	
	国名	健康寿命(歳)
1	日本	74.9
2	シンガポール	73.9
3	韓国	73.2
4	スイス	73.1
5	イスラエル	72.8
⋮	⋮	⋮
103	リビア	63.7
104	ロシア	63.4
105	カザフスタン	63.3
⋮	⋮	⋮
183	シエラレオネ	44.4
平均値		63.1

資料:WHO「Global Health Observatory (GHO) data」

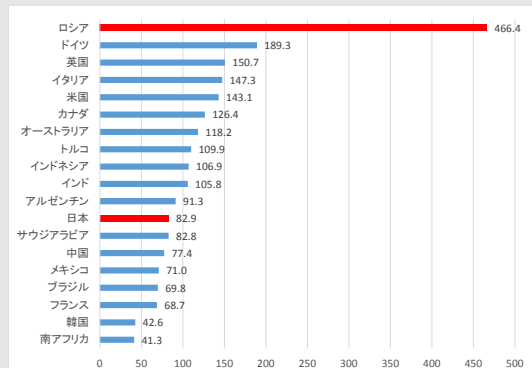
- 日本の「健康長寿」の背景には、日本食の食文化が大きくかかわっており、栄養バランスのよい食事が、肥満などの生活習慣病の予防や心疾患の予防につながっています。
- ロシアでは高血圧や心疾患による死亡が多く、ロシア病院関係者からは日本の介護食や機能性食品等に高い関心が寄せられています。

○肥満率のG20国間比較(男女平均)



※ 18歳以上のBMI25以上の割合
資料:WHO「Global Health Observatory (GHO) data」

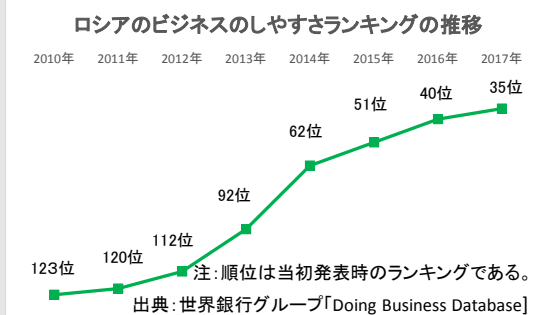
○虚血性心疾患による人口10万対死亡率のG20国間比較(2008年)



資料:WHO「Measurement and Health Information(2011)」

○ 近年、ロシアのビジネス環境は向上しており、魅力的な市場となっています。

・世界銀行が2017年10月に発表した各国におけるビジネスのしやすさランキングで、ロシアは2010年から連続して上昇し、35位(190ヶ国中)となっています。



<潜在力を持つ市場規模>



- ・世界9位の人口
ロシアの人口は、日本やメキシコの人口より多い1億4,400万人(2015年)です。
- ・世界12位の経済規模
ロシアの名目GDPは、1兆3,700億ドル(2015年)で、世界第12位。これはオーストラリア、スペイン、メキシコより大きなもので、韓国と同程度です。
- ・国民所得がBRICS最高
ロシアの1人あたりの国民総所得(GNI)は、11,700ドル(2015年)です。これは、BRICS諸国中、最も高い水準です。

日本の食品関連事業者とロシアの病院等が連携した トライアル事業が始まります！

参加企業募集中！
平成30年6月4～28日

1. 介護食品や機能性食品等のテスト的導入

○ロシアの薬局や売店において、日本の介護食品や機能性食品等をテスト的に導入(サンプル配布やテスト販売など)します。

○テスト導入時にアンケート調査を行い、現地の嗜好に合った商品への改良・開発を行います。

- ・アンケート調査を通じて、現地の嗜好に合った商品の改良や販路の開拓に役立てていただけます。

【事業での支援内容(※)】

サンプル代、認証取得費、海外輸送費、アンケート実施費等の一部



▲介護食品や機能性食品の例

2. 介護食品や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト的導入

○ロシア病院関係者と連携し、ロシアの病院食に日本の介護食品や機能性食品等をテスト的に導入します。また、当該食品の摂取効果を、メディカルチェックやアンケート調査により測定します。

○ロシア病院関係者と連携し、現地のニーズに合った新たな介護食品や機能性食品等を共同開発します。

- ・病院内での効果測定により、業務用の販路開拓に役立てていただけます。

【事業での支援内容(※)】

サンプル代、認証取得費、海外輸送費、効果測定費等の一部



▲嚥下食の例

3. ロシア病院食レシピの作成、日本の病院食のオペレーション指導

○日本の病院食の特長を活かした病院食のレシピや献立を作成し、ロシアの病院でテスト的に導入します。

○また、日本から専門家を派遣し、ロシアの病院食等の関係者に対しオペレーションのノウハウ等について指導します。

【事業での支援内容(※)】

メニュー開発費、専門家渡航費、効果測定費等の一部



▲ロシアの病院での配膳例



▲日本の病院食の厨房

(※)予算の範囲内での支援となりますので、上限が設定される場合があります。

【お問い合わせ】

事業委託者：農林水産省食料産業局企画課（担当者：高田、宍戸、古川）

代表:03-3502-8111（内線4354）、ダイヤルイン：03-6744-7179

事業受託者：株式会社JTB 新宿第二事業部（担当者：市川、平松、淡路）

TEL：03-5909-8091、FAX：03-5909-8101

★事業参加を希望される場合は、JTBの日本企業グローバルビジネスサポートLAPITA (<https://reg.lapita.jp/public/seminar/view/265>) からお申し込みください。